

# 建設の施工企画

2006年11月号 No.681

## 目次

### ロボット・無人化施工 特集

3	グラビヤ	災害復旧における遠隔操縦ロボット「ロボQ」の出動事例 自動車及び船舶による自動測量システムの開発	
5	巻頭言	建設ロボットの展望—ロボットからRTへ—	新井 健生
6		無人化施工の推進と展望	建設無人化施工協会技術委員会
13		国土交通省総合技術開発プロジェクト「ロボット等によるIT施工システムの開発」 の取り組み	山元 弘・金澤 文彦
19		全自動ビル建設システム—在来工法併用型システムの工事適用—	池田 雄一
25		煙突自動除染れんが解体ロボットの開発—「スウィンパーロボ」の実用化—	西山 桂司・小林 啓二・柳楽 毅
30		無人情報化施工を目指して—自動車及び船舶による自動測量システムの開発—	増田 稔・藤山 映
35		遠隔操縦ロボット（ロボQ）を搭載した建設機械による災害復旧の出動事例	木村 直紀・牧野千代春
40		大型レスキューロボットの開発—「T-52 援竜」—	藤田 志朗・須藤 大策
45		キャビテーション噴流技術を用いたトンネル照明灯具の 高速清掃装置の開発	時枝 寛之
52	投稿報文	MAP工法を利用した海砂採取工事とその応用検討	吉越 一郎・宮城 茂信・大矢 通弘
58	投稿報文	日本最長の泥土圧シールドの施工実績	辻井 孝・亀井 達司・上田 昭郎
64	交流の広場	水素エネルギー	岩本 隆志
69	ずいそう	江戸に学ぶ	前田純一郎
70	ずいそう	浜名湖の黒鯛釣り	星 修
71	連載	土木技術者評伝 嘉南大圳設計者 八田與一技師（1） —台湾で愛され日本人に知られていない偉大な土木技術者—	川本 正之
75	JCMA 報告	外国人研修生・技能実習生のための建設機械施工技能評価試験	業務部
77	JCMA 報告	見学会報告 新佐呂間トンネル工事現場	建設業部会
81	CMI 報告	CMIにおけるロボット開発	上石 修二
83	新機種紹介		広報部会
85	統計	建設機械市場の現状・建設工事受注額・建設 機械受注額の推移 2006年8月	広報部会
91	行事一覧	(2006年9月)	
94	編集後記		(夏原・山崎)

#### ◇表紙写真説明◇

遠隔操縦ロボット（ロボQ）による災害復旧状況  
—沖縄県中城村土砂災害—

写真提供：国土交通省九州技術事務所

遠隔操縦ロボット（ロボQ）は、災害復旧作業における初動体制の迅速化を図ることを目的に開発したものであり、汎用の建設機械に現地で簡単に着脱できる遠隔操縦ロボットである。現在、バックホウ用、ブルドーザ用、不整地運搬車用の3機種が開発されている。

写真は、平成18年6月に沖縄県中城村で発生した土砂災害における、バックホウ用ロボQの復旧作業の状況である（本文35～39ページ）。